

Xpert Check v2.0 ソフトウェアリリースノート

本文書には、**Xpert Check 添付文書**に記載されていない新しい情報、既知の制限および説明が含まれています。

新しい機能

Xpert Check ソフトウェアバージョン 2.0 には、以下の新しい機能または改善点が含まれています。

- **ファームウェアバージョンの束縛から自由に** — Xpert Check では、1 つのモジュール型式でさまざまなファームウェアバージョンを利用できるようになりました。また、モジュールの型番とファームウェアバージョンによるモジュール検証機能も追加します。
- **データベースセキュリティのアップデート** — Windows のガイドラインに従った最新の SQL パスワードを使用して製品ソフトウェアで Xpert Check を実行し、データベースに接続できるようになりました。旧バージョンの SQL パスワードは引き続きサポート対象となり、パスワードはセキュリティ強化のため暗号化されます。
- **連絡先情報のアップデート** — シリアル番号や国などの連絡先情報は、正確性と一貫性が検証されるようになりました。また、「国 (Country)」フィールドにドロップダウンメニューを追加します。
- **レポートのアップデート** — スキップされたモジュールテストでフィールドに空白ではなく「N.A.」と表示されるように、レポートもアップデートしました。さらに、桁数がより大きいモジュールシリアル番号が記載できるように、表のレイアウトが新しくなります。
- **Java 11 にアップデート** — 最新のセキュリティ機能を導入しパフォーマンスを向上させるため、Xpert Check を Java 11 にアップデートしました。

既知の問題

システム全体のパフォーマンスに影響を与えるような既知の制限はありません。